

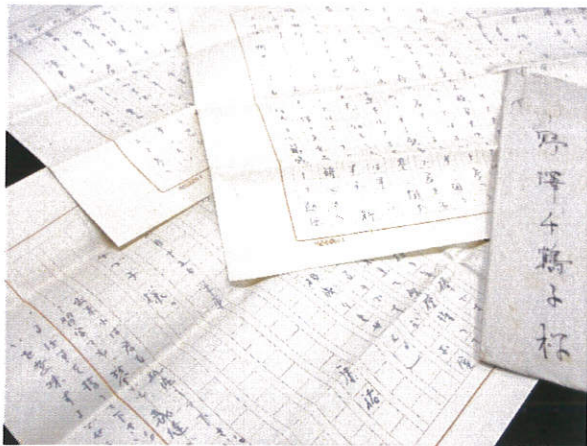


分室企画展



作家の手紙

10月21日(土)～平成30年2月3日(土)



五味康祐書簡(野澤千鶴子あて)
1948年 部分

石神井公園ふるさと文化館分室の収蔵品の中には、作家の原稿類や蔵書などのほかに、手紙が多く遺されています。現在のように手軽な連絡手段がなかった頃、遠く離れた人へ用件を伝えるために手紙は欠かせないものだったことは言うまでもありません。

手紙の内容は、事務的なものから年賀状や季節のあいさつなどさまざまですが、親しい相手に書かれた手紙は、作家の作品から受ける印象とは一味違った人柄が垣間見られたり、また自筆のものは個人的な書きぶりから書き手の心情を想像させるおもしろさがあったりします。

今回の展覧会では作家・五味康祐と、画家・野見山暁治が書いた手紙をご紹介します。

五味康祐(1921～1980)は1949年、28歳の頃に歌人の前川佐美雄の義妹である野澤千鶴子と結

婚しますが、その前後に千鶴子へ宛てた手紙が遺されています。特に1947～1949年に書かれたものが多く、約50通に上ります。離れて暮らし、作家を志す五味にとって、いつも支えとなっていたのは千鶴子からの手紙でした。

野見山暁治(1920～)は1952～1964年の12年間パリに暮らしていました。渡仏期間中に、妹の夫で義弟にあたる作家・田中小実昌(1920～2000)へ宛てられた手紙が約80通遺されています。「ロミちゃん」「兄貴」と呼び合う仲で互いに信頼し合い、渡仏中の妻の死という不幸も乗り越えながら、画家としての歩みを地道に進めていった軌跡が手紙から窺われます。

両者とも20～30代に書かれた手紙のご紹介となります。展示される手紙はほんの一部となりますが、作家、画家、各々の道を目指した若者の苦悩や愛情など、綴られた手紙から浮かび上がる素顔をご覧いただければと思います。



野見山暁治書簡(田中小実昌あて)
1953～63年

石神井公園ふるさと文化館では館と来館者をつなぐサポーターが活動しています。分室サポーターによるコラムです。

河骨の花によせむ

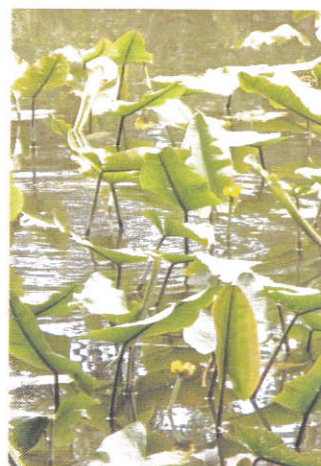
サポーター 赤迫齊雄

三宝寺池に今年も河骨（こうほね）がたくさん咲いている。尾瀬河骨に比べたら花は随分と大きい。

「この池の不思議はいつ来ても河骨の花が咲いてゐるようだ」とは、高浜虚子の「武蔵野探勝会」

で、昭和七年六月五日に石神井公園に来て三宝寺池畔を吟行したときの本田あふひ氏の吟行記の一節。これは本人が前年の十一月にも今六月にも来たときも言うこととで年中咲いているわけでは勿論ない。

このときの虚子の「河骨に泛子（うき）も静まりかへるかな」の句がある。魚を釣っている人がいたことが判る。水も澄んでいたに



三宝寺池より

違いない。

また、このころは、茶店があり、そこからボートが出ていたことも句に詠まれている。

豊島泰経（としまやすつね）が石神井城の落城時、黄金の鞍にうち跨り三宝寺池に入水したとの伝承があるが、歳々咲き次ぐ河骨の黄金色は、泰経の鞍の黄金が砕け細片となつて、この世に戻ってきているのではなからうか。



五味オーディオ通信♪

五味氏のエアチェック・テープについて

五味康祐氏のご遺族亡きあと、練馬区が動産一括で無償譲渡を受けた遺産のうち、オーディオ機器やレコードなどとともに膨大なオープンリール・テープがあります。これは、五味さんが生前、NHKや民放のFM放送をエアチェックしたものです。

エアチェックとは、FM放送などのラジオ放送を録音することで、1970年代には多くのオーディオ・マニアがオープンリール・テープデッキやカセット・デッキに録音して楽しんでいました。

NHKや民放のFM局では、海外のオーケストラの演奏会や、国内のライブ・コンサートの生中継などが放送され、音の良い放送を録音することで、レコードにはない緊張感のある音楽ライブラ

リーを持つことができ、また楽しむことができました。

五味さんは特に毎年8月に開催される、ワグナーの聖地であるバイロイトの音楽祭のFM放送をエアチェックし、指揮者や歌手の違いを比較しながら音楽を楽しまれたようです。

この五味さんがエアチェックしたテープは、バイロイト音楽祭や海外の放送局のテープの放送が中心ですが、テープは熱や湿気に弱いため、テープの伸びやカビなどで聴くことができるものはそんなに多くはありません。また、放送を録音したものは録音した個人が楽しむためのもので、皆様にお聴かせすることができないのが残念です。テープが再生できれば、その時々演奏会の雰囲気味わえるのではないかと思います。が・・・！

次回・展覧会

練馬区独立70周年記念展 石神井公園ふるさと文化館分室特別展

『生誕90年記念 藤沢周平と練馬』

平成30年2月10日(土)～4月1日(日)



時代小説作家として著名な藤沢周平(昭和2(1927)年～平成9(1997)年)は、今年度、生誕90年・没後20年にあたります。それを記念して、石神井公園ふるさと文化館では、全国巡回の「藤沢周平展」を、分室では同時期に、藤沢が長く住んだ練馬区とのつながりをご紹介します。「藤沢周平と練馬」展を開催します。

藤沢周平は山形県生まれ。中学校教師時代や長い入院生活を経て、昭和32(1957)年～約6年間を練馬区貫井に住み、サラリーマンをしながら執筆活動を続けました。妻を早くに失い、男手ひとつで子育てと仕事に忙される日々を送ります。その後再婚し、清瀬市や東久留米市転居を経て、昭和46(1971)年、『溟い海』でオール讀物新人賞、昭和48(1973)年には『暗殺の年輪』で第69回直木賞を受賞します。昭和51(1976)年から亡くなるまでの約20年間を、練馬区大泉学園町に住みました。

『たそがれ清兵衛』『蟬しぐれ』『山桜』『三屋清左衛門残日録』『用心棒日月抄』など、無名の人々の心を細やかにすくいあげて描く名作の数々は、映画化も多く、広く読者の心をとらえています。吉川英治文学賞、菊池寛賞、朝日賞、紫綬褒章など受賞歴も多数です。

苦勞の多かった生活から「普通が一番」と言った藤沢周平の愛用品や、著作資料、写真資料などを展示し、私たちのそばにいた藤沢周平の姿をご紹介します。

今月の作品

『四百字のデッサン』

野見山暁治・著／河出文庫

練馬区在住の洋画家・野見山暁治(1920年～／文化勲章受章者)は、エッセイの達人でもあります。

少年期を過ごした福岡の、またパリの、東京の、交友のあったさまざまな美術家や詩人たちの横顔を綴っています。名文として知られる、氏の文章を味わいつつ、リアルに立ち上がる芸術家たちと、氏の生き方に触れることのできる本です。

日本エッセイスト・クラブ賞受賞作品。

「作家の手紙」展ご観覧とともにどうぞ。



【発行・お問い合わせ】

石神井公園ふるさと文化館分室(公益財団法人練馬区文化振興協会) ☎03-5372-2572/Fax050-3352-2983

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内

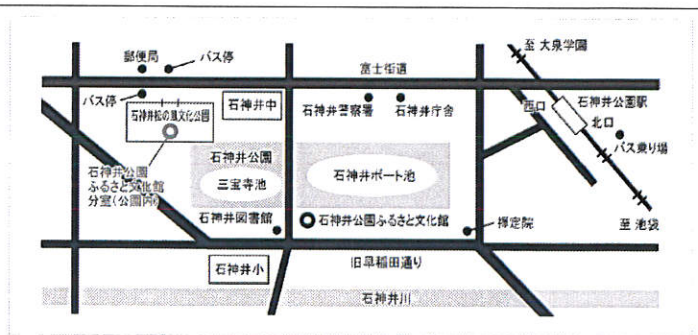
休室日: 毎週月曜日(月曜が祝休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休室日

【アクセス】

最寄駅: 石神井公園駅

西武池袋線(東京メトロ有楽町線、副都心線直通あり)

- ・石神井公園駅西口から徒歩約15分
- ・石神井公園駅北口から西武バス「吉祥寺駅」行き乗車、「石神井郵便局」下車約1分





のイベント情報



福原区創立40周年

日付	時間	イベント名・講師等	場所	対象・定員	費用	申込
10/7 (土)	14:00~14:30	デビュー30周年記念 いとうひろし展一みつけよう、わくわくのタネ 展示解説 担当学芸員による分室特別展の解説です。 解説：当室学芸員	石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも・なし	無料	なし
10/22 (日)	14:00~14:20	サポーターによるギャラリートーク 奥田小由女(人形作家)の解説です。 解説：三井晴子 (分室サポーター)	石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも・20名	無料	なし
10/22 (日)	14:20~14:40	サポーターによるギャラリートーク 前橋汀子 (ヴァイオリニスト)~演奏活動55周年~の解説です。 解説：坂本節子 (分室サポーター)	石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも・20名	無料	なし
10/28 (土)	A回13:30~15:00 B回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーディオによるコンサートです。 解説：金子学 (ベレインブラッテ代表) テーマ：ベルリンフィルのベートーヴェン~カラヤンとラトル	石神井公園ふるさと文化館 分室	中学生以上・各回20名	500円 当日払い	10/14(土) ぴ切 ★1
10/29 (日)	12:00~13:00	サロンコンサート 日本大学芸術学部との連携によるお昼のサロンコンサートです 演奏：日本大学芸術学部音楽学科ピアノ科 教授 田代幸弘/講師 丸山匡子	石神井松の風文化公園管理棟内 多目的室	どなたでも・100名	無料	なし
11/4 (土)	10:30~11:30	サポーターによる散策会 三宝寺池一周歴史散歩です。 解説：葛城明彦 (分室サポーター)	石神井松の風文化公園管理棟内 和室・三宝寺池周辺	どなたでも・なし	無料	なし
11/5 (日)	12:00~13:00	サロンコンサート 武蔵野音楽大学学生によるお昼のサロンコンサートです 演奏：武蔵野音楽大学学生	石神井松の風文化公園管理棟内 多目的室	どなたでも・100名	無料	なし
11/18 (土)	14:00~14:30	作家の手紙展 展示解説 担当学芸員による分室企画展の解説です。 解説：当室学芸員	石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも・なし	無料	なし
11/19 (日)	14:00~14:20	サポーターによるギャラリートーク 藤沢周平(作家)の解説です。 解説：大澤伊代子 (分室サポーター)	石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも・20名	無料	なし
11/19 (日)	15:00~16:00	サポーターによるミニ講演会 和辻哲郎(哲学者)の解説です。 解説：横田胤馬 (分室サポーター)	石神井松の風文化公園管理棟内 多目的室	どなたでも・50名	無料	なし
11/25 (土)	A回13:30~15:00 B回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーディオによるコンサートです。 解説：当室オーディオ担当職員	石神井公園ふるさと文化館 分室	中学生以上・各回20名	300円 当日払い	11/11(土) ぴ切 ★2

★の申込方法については石神井公園ふるさと文化館HPをご覧ください。
(<https://www.neibun.or.jp/furusato.html>)

♪毎週火・木曜日、2階五味康祐オーディオ展示室にて音出しメンテナンス実施中！ご自由にご試聴いただけます。